

項目	内容
名称	セラミド (N-アシルスフィンゴシン) [英]Ceramide (N-acylsphingosine) [学名]
概要	セラミドは、表皮の角質層を形成する細胞間脂質の50%近くを占めているものである。水分の蒸発を防ぐ効果があり、保湿柔軟性を維持し、細胞同士をつないで整列させる働きがあるとされる。工業的には、小麦、コメ、コンニャクなど植物からの抽出物が開発されている。外用として化粧品などに使用されている。
法規・制度	■ 食薬区分 「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・スフィンゴシン塩基のアミノ基に脂肪酸が酸アミド結合したもの。有機合成されたリグノセロイルスフィンゴシンは融点94~95℃で、エーテルやクロロホルムに可溶。
分析法	・液体クロマトグラフィー/エレクトロスプレーイオン化質量分析 (LC/ESI-MS) により分析されている ( <a href="#">PMID:12478556</a> )。この方法によるセラミドの検出限界は約 0.5 pmolであり、陽イオンモード (positive ion mode) ではより高感度で測定できる。
	有効性

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
ヒト生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
で脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
の免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(30) 「医薬品の範囲に関する基準」 (別添2、別添3、一部改正について) <a href="#">(PMID:15111500) Diabetes. 2004 May;53(5):1303-10.</a> <a href="#">(PMID:12626573) J Immunol 2003 Mar 15;170(6):3154-61.</a> <a href="#">(PMID:12478556) Rapid Commun Mass Spectrom. 2003;17(1):64-75.</a>